

温泉の経年変化に関する調査（昭和55年度）

平野 温馬 森田 俊一 松田 純子

県下温泉地の泉源は、年々温度、湧出量、水位、及び化学成分濃度に変動を示し、温度の低下、湧出量の減少が懸念されるものを認める。そこで、温泉の適切な管理に必要な資料を得るため、昭和55年度も実態調査を継続して実施した。

昭和55年度の調査結果を、温泉地区別に前年度と対比して、温泉調査結果表（昭和55年度）に示した。次に、各地区の現況を略述する。

岩井温泉

自噴の停止した二源泉もあり、総揚水量が8%（84ℓ/分）、総採取熱量が9%減少した。

鳥取温泉

平均水位が16cm上昇し、総揚水量が18%（94ℓ/分）、総採取熱量も17%増加した。成分濃度は殆ど変化がなかった。

吉岡温泉

総揚水量が7%（70ℓ/分）、総採取熱量が9%増加したほか、大きい変化はなかった。

湯谷地区

総揚水量が9%（24ℓ/分）、総採取熱量が10

%増加したほか、大きい変化はなかった。

浜村温泉

殆ど変化はなかった。

鹿野温泉

総揚水量、総採取熱量ともに少し増加したほか、殆ど変化はなかった。

東郷温泉

殆ど変化はなかった。

浅津温泉

総揚水量が13%（260ℓ/分）、総採取熱量が12%増加したが、硬度はわずかに減少している。

関金温泉

大きい変化はなかった。

三朝温泉山田区

大きい変化はなかった。

同三朝区

大きい変化はなかった。

皆生温泉

化学成分濃度が異常に低い一源泉がみられたほか、大きい変化はなかった。

温泉調査結果表 (昭和55年度)

温泉地区名	調査年度	調査源泉数	平均温度 ℃	総採取熱 量 kcal/分	総揚泉量 ℓ/分	平均水位 - m	平均比電導度 20℃ ×10 ² μScm	平均 C l mg/ℓ	平均 硬度 mg/ℓ	
岩井	54	8	45.2	47,192	1,043	...	18.3	138	5.86	
	55	6	44.8	42,979	959	...	18.2	147	5.99	
鳥取	54	29 (6回/年, 延174)	45.7	23,102	506	9.26	47.0	853	3.60	
	55	24	44.9	26,959	600	9.10	47.6	854	3.59	
吉岡	54	5	44.2	41,545	939	...	5.6	76.0	0.46	
	55	5	44.8	45,216	1,010	...	5.9	79.2	0.46	
湯谷	54	4	31.3	7,990	255	...	26.0	619	1.27	
	55	4	31.6	8,808	279	...	27.2	611	1.22	
浜村	54	27	48.0	63,196	1,316	...	12.3	202	1.94	
	55	27	47.4	60,839	1,282	...	12.5	200	1.94	
鹿野	54	8	59.8	32,428	542	...	11.2	268	0.47	
	55	7	59.9	34,447	575	...	11.5	267	0.48	
東郷	54	37	63.2	78,396	1,241	...	20.0	508	2.51	
	55	38	64.2	81,886	1,275	...	20.2	526	2.57	
浅津	54	7	56.3	114,987	2,042	...	22.0	594	2.67	
	55	7	55.9	128,634	2,301	...	21.6	604	2.46	
関金	54	16	46.0	14,486	315	...	5.8	104	0.35	
	55	16	46.9	13,968	298	...	5.5	101	0.32	
三	山田区	54	46	52.7	78,744	1,494	...	15.6	417	0.98
		55	43	51.8	74,320	1,434	...	15.5	391	0.97
朝	三朝区	54	37	44.1	30,243	686	...	12.2	290	0.67
		55	38	46.2	29,958	649	...	12.3	282	0.67
皆生	54	21	70.6	255,277	3,618	4.13	130	5,420	41.2	
	55	20	68.6	260,853	3,805	4.20	126	5,120	39.2	